

施設名称	河内長野市立障がい者福祉センター あかみね	
指定管理者名	社会福祉法人 河内長野市社会福祉協議会	
指定期間	令和 4 年 4 月 ～ 令和 9 年 3 月	
運営状況	開館日数	243日
	開館時間	午前9時～午後5まで
	管理上の特記事項	※条例（研修室などの使用の特例）の規程に応じて、開館時間以外の対応しています。
利用実績	利用者数	12,359名（障がい者 7,116名 ・ その他 5,243名）
	利用団体数	利用者登録：505名 利用団体数：20団体
	主な行事及び参加人数	A 各行事及び参加人数 別紙 利用者数総計 参照
		B
		C
稼働率	平日	63.7% 算出方法 貸室の利用率を算出
	土日	46.0% 算出方法 貸室の利用率を算出
	平均	54.9% 算出方法 貸室の利用率を算出
自主事業の実施内容及び状況	[デイサービス事業] ○点字講習会、手話講習会を行った。 ○あかみねフェスティバルの開催に向けて、近隣施設と調整を行った。 ○11月開催予定のきららまつりの参加依頼があったため調整を行った。 ○大阪府880万人防災避難訓練を行った。 ○秋季ボッチャ大会、ふれあい卓球大会を実施した。 ○あかみねフェスティバルを開催し芝生広場を活用した。 ○あかみね「防災・避難訓練」を開催した。 ○花苗を玄関先の花壇周辺およびグラウンドの花壇へ障がい者やボランティアの方々と一緒に植えた。 ○警察による防犯についての講座を開催した。今回は寸劇も行い、より視覚的にもわかりやすい内容にした。 ○民生委員児童委員と身体障害者福祉会の交流会を行った。 ○ボランティア講習会を行った。 ○コロナウイルスが5類に変更後も、クラブ・教室などについては利用人数に制限をかけ感染対策を行いながら、事業を実施した。また、コロナウイルス感染症の影響で、自宅に籠りがちな方には個別に連絡をとるなど、安否確認等も継続して行った。 ○障がい児・者や家族などの自助グループの活動を支援した。 ○あかみね作品展、発表会を行った。 作品展については一般の方（障がい手帳所持）の作品も募集し展示を行った。発表会については、館内クラブ教室以外にも地域活動団体に参加をしてもらうことで皆が楽しめるイベントとなった。	

自主事業の実施内容及び状況	[生活介護事業] ○重度心身障がい者(医療的ケアを含む)への受け入れ体制を随時整えた。 ○個別支援・リハビリ訓練を充実させた。 ○キタバ薬局主催のキタバフェスや地域イベント「みんなのマルシェ」に参加した。 [全 体] ○「防災・避難訓練」を開催し、個々人の災害発生時に対する行動や意識の再確認を行った。福祉避難所マニュアルについては、受け入れの対象者など確定することでより現場に即した物に変更していきます。 ○地域のまちづくり協議会の事業や地域のイベントなどにも参加し、地域関係者と連携ができる体制づくりを行った。
アンケートなど意見聴収状況及び対応	○あかみね「防災・避難訓練」にて防災に関するアンケートを実施 ○あかみね「防犯訓練」にて防犯に関するアンケートを実施 ○館内の設備に関するアンケートを実施 ○ボランティア講習会にてアンケートを実施 ○あかみねフェスティバルにてアンケートを実施 ○手話・点字講座にてアンケートを実施 ○あかみね作品展・発表会にてアンケートを実施 (別紙 アンケート集計 参照)
苦情又は事故の発生状況とその対応結果	○特記事項なし
修繕、減失の状況とその対応結果	○施設周囲のアスファルト（駐車場含む）が剥離しており、利用者の転倒などが予測されるため業者に工事に係る経費などについて見積りを依頼した。 ○施設外回りの点字タイル、花壇の修繕が終わった。（1月の車事故によるもの）（4月） ○1階女子トイレの下水排水管が破損した。（5月） ○送迎用車両（マイクロバス）の故障のため修理を行った。（修理期間6/23～6/26） ○一階女子トイレの自動弁が故障した。（6月） ○1階訓練室の床の工事を開始した。（8月） ○1階訓練室の電気コンセントの修繕を行った。（8月） ○事務所エアコンのモーターが破損したため修繕を行った。（2月） ○エアコンの室内機の基盤が破損したため修繕を行った。（3月） ○以前に空調室外機については部品交換を行ったが、室内機が10年以上使用しているため、今後部品の交換が必要となる。
その他	○4/4にネーミングライツセレモニーを行った。 ○分館にてクビアカツヤカミキリが発生したため随時駆除を行った。（※今後も発生が懸念される） ○障がい者福祉センターあかみね運営委員会（令和5年6月30日）を開催し、サービスの向上を図るとともに事業運営の適正化を図った。 ○地域活動支援センター設置に向けて、大東市にeスポーツの視察を行った。（12月）